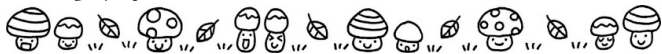




らいおんぐみだよ

令和3年9月15日発行 担当 川名 ひろみ

9月になったとはいえ、まだ残暑の厳しい日が続いていますね。日中は気温も高く夏の陽気のように、朝夕になると時折涼しい風を感じることもあります。こども園の帰り道や、お休みの日など子どもたちと外に出て風を感じ、季節の変わり目を一緒に体感してみてるのもいいですね。



おはしチャレンジ

室内コーナーの中に指先遊びの一環としてお箸遊びを取り入れています。様々な種類のビーズやマカロニを準備し、次はどれに挑戦しようかなと楽しむようにしています。指先が器用になってきた今、正しい箸の持ち方を覚えることはとても重要です。鉛筆や筆の持ち方にも影響してきます。お箸名人目指して頑張りましょう！

園で取り組んでいるお箸練習の方法をコッパリお伝えします。

お箸の練習は箸「一本」から始めましょう！

ステップ①

★親指・人差し指・中指の三指で一本の箸を持ってみよう！

(このとき親指の付け根に箸を持ってきてしまう子が多いです。箸は親指・人差し指の腹で持つように伝えましょう。箸は中指の爪の上に優しく添えるだけ)

ステップ②

★一本の箸を三指で上下に動かす練習をしてみよう！

(人差し指と中指を伸ばす～曲げる～と練習する。親指の関節は動かないようにね) ★手首・薬指・小指が動かないようにそっと握っていてあげると子どもはやりやすいよ)

ステップ③

★箸を上下で持ち、開く・閉じるの練習をしてみよう！

(三指で優しく上の箸を持ち、下の箸は親指の付け根にそっと置き、薬指の爪の上に添える。動く指は人差し指と中指だけ！！)

ステップ④

★さあ、いよいよ何かをつまんでみよう！

(子どもたちは夢中になると、とことん挑戦する性質を持っています。ご自宅の何かをつまんでも大目に見てあげてください。)



お箸にギュッと力を入れて持つ子が多いです。「優しく持ってあげようね」と声掛けするとお箸にも優しくしてくれます。



読書の秋におススメのえほん



かみさまからのおくりもの

・人はそれぞれ違う個性を持っているから素敵なのです。みんながってみんないい！私の大好きな絵本です。まだ読んだことがない方は是非！



いつもいっしょに

コロナの時代だからこそ当たり前が当たり前ではなくなった今、側にいる人のことを想って読んでほしい一冊です。



しいとりのふしぎ

言葉の意味や仕組みがわかりはじめ、覚える単語が格段に増えてきましたね。しりとりは語彙力を高める最高の遊びです。・言葉の最後に「ん」がついてはいけません。(ルールを知る)・友達が言った言葉の最後の文字から始まるものを考える。(思考力)友達と言葉でのやり取りを楽しみながら、自分が知らない言葉を友達が言っているのを聞き覚えることができます。ちょっとした待ち時間の合間に遊ぶと楽しいですよ。

お願い

「欠席連絡へのご協力お願い」

ニュースで伝えられている子どもの降ろし忘れなどの事故もあります。そのような事柄に配慮するためにも、登園が遅れたりお休みをする際には、**9時**までに園まで連絡をお願いします。連絡がない場合は、園から確認のお電話をいれさせていただきます。

ご協力よろしく申し上げます。

